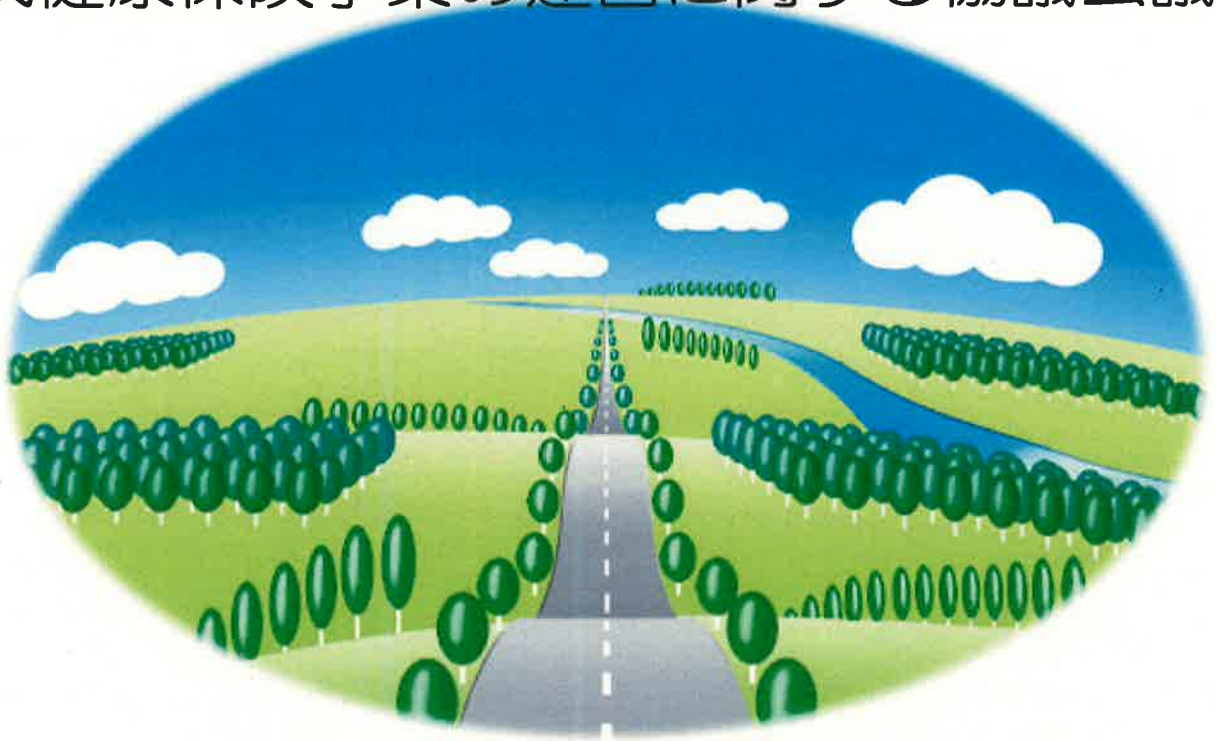
令和２年度

国民健康保険事業の運営に関する協議会議案



日　時　　令和２年９月８日（火）　１３時００分～

場　所　　中標津町役場３階　３０１会議室

中　標　津　町

会 議 次 第

１．開　　会

２．町長あいさつ

３．会長あいさつ

４．議事録署名委員の選出

５．議　　事

議題第１号　令和元年度 国民健康保険事業特別会計決算について

６．そ　の　他

７．閉　　会

議案第１号　　令和元年度 国民健康保険事業特別会計決算について

1.一般状況

中標津町の国民健康保険加入世帯は令和元年度末現在で3,195世帯、対前年度比1.3%減少となっており、町の世帯の約28.75%が加入していることとなります。町全体の人口は23,091人で対前年度比で0.5%減少、国保被保険者についても年平均で5,550人と4.1%減少となっています。

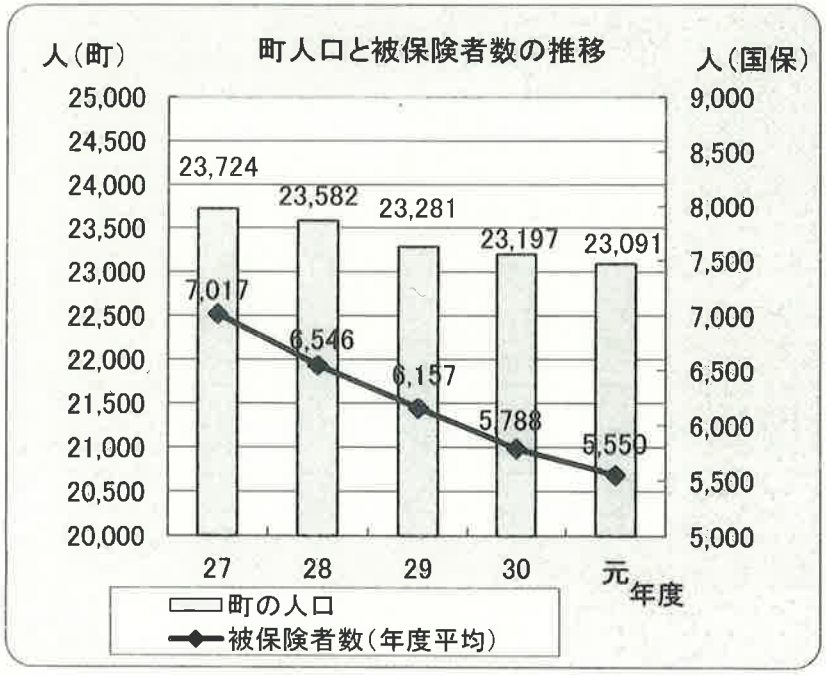
加入者の年齢構成は、60歳以上が加入者全体の46.9%となっており、今後も高齢者の割合は緩やかに増加していくと推察しております。

なお、退職被保険者は年度平均で2人となっておりますが、令和元年度末までに0人となったところです。

①加入状況(令和元年度末現在)

(単位:人・%)

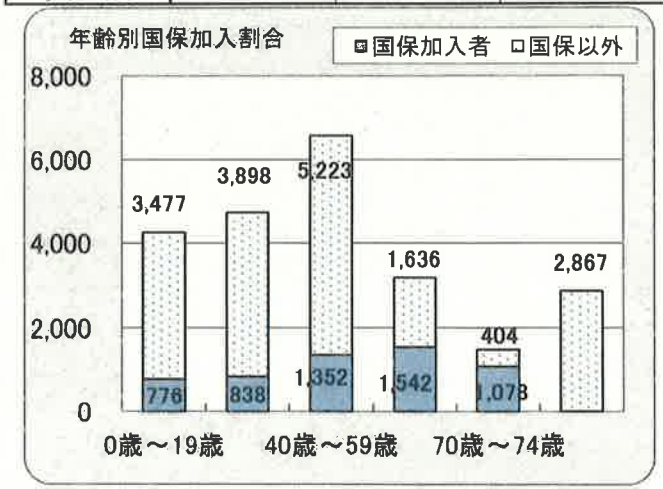
年度	世帯数(年度末)			町の人口	被保険者数(年度平均)						一世帯当被保数
	全世帯数	国保加入数	加入率		総数	対前年比	一般	対前年比	退職	対前年比	
27	10,921	3,677	33.67	23,724	7,017	95.52	6,873	96.11	144	73.85	1.9
28	10,951	3,530	32.23	23,582	6,546	93.29	6,456	93.93	90	62.50	1.8
29	10,961	3,350	30.56	23,281	6,157	94.06	6,112	94.67	45	50.00	1.8
30	11,053	3,238	29.30	23,197	5,788	94.01	5,776	94.50	12	26.67	1.7
元	11,114	3,195	28.75	23,091	5,550	95.89	5,548	96.05	2	16.67	1.7

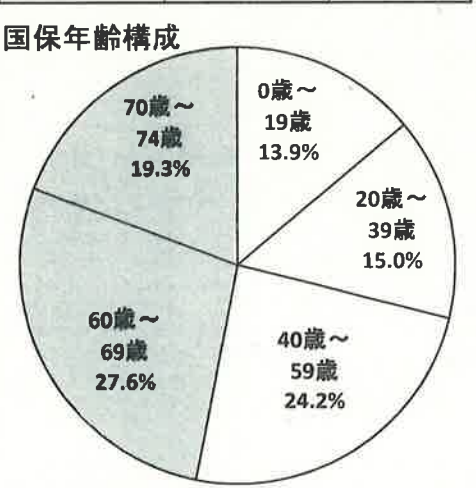


②年齢構成別状況(令和元年度末現在)

(単位:人)

	0歳～19歳	20歳～39歳	40歳～59歳	60歳～69歳	70歳～74歳	75歳～
国保加入者	776	838	1,352	1,542	1,078	
構成比	13.9%	15.0%	24.2%	27.6%	19.3%	
町の人口	4,253	4,736	6,575	3,178	1,482	2,867
人口比	18.2%	17.7%	20.6%	48.5%	72.7%	





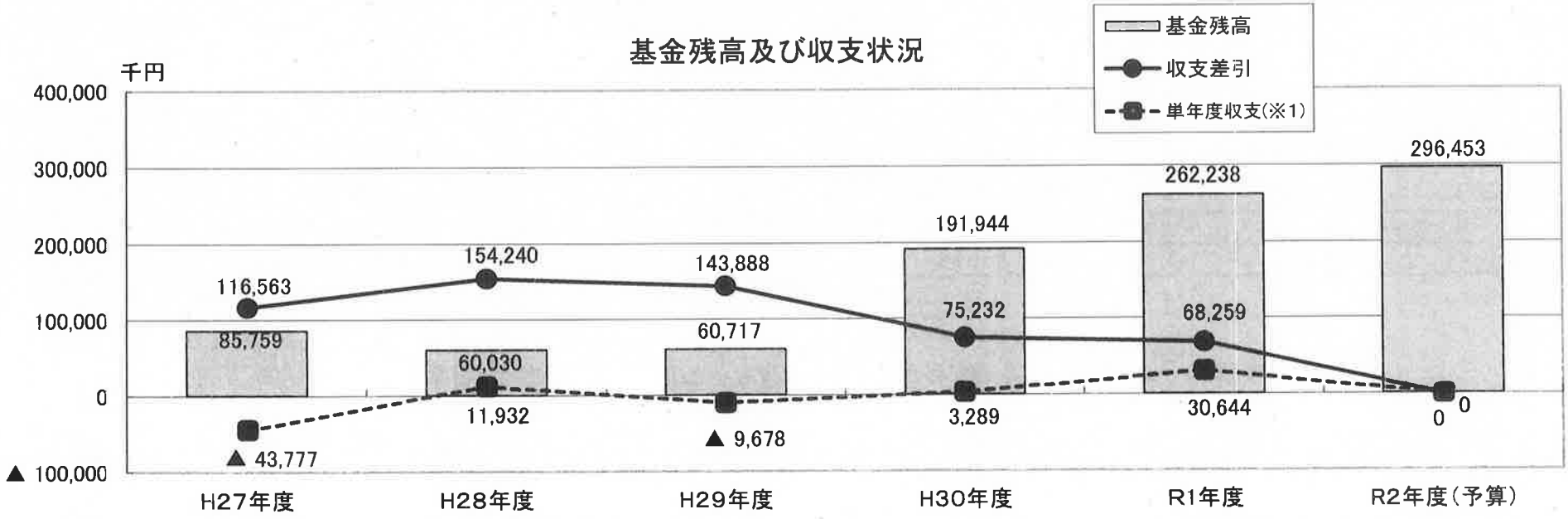
2.財政収支及び財政調整基金の状況

(1)年度別収支状況

(単位:千円)

年　度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度(予算)
歳　入	3,377,164	3,121,412	3,060,081	2,560,176	2,470,543	2,756,817
歳　出	3,260,601	2,967,172	2,916,193	2,484,944	2,402,284	2,756,817
収支差引	116,563	154,240	143,888	75,232	68,259	0
(基金繰入額)	80,171	84,027	76,446	0	0	0
前年度繰越金	80,169	58,281	77,119	71,943	37,615	34,129
単年度収支(※1)	▲ 43,777	11,932	▲ 9,678	3,289	30,644	—
基金残高	85,759	60,030	60,717	191,944	262,238	296,453
剰余金	58,281	77,119	71,943	37,615	34,129	0
基金積立額	58,282	77,121	71,945	37,617	34,130	—
基金利息	16	12	13	113	67	—

※1 単年度収支・・・・「基金繰入金」・「前年度繰越金」を除いた歳入総額から歳出総額を差し引いた実質収支



(2)財政収支の内訳

歳入の国民健康保険税については、加入者の減少により、対前年度比2.8%減少の716,738千円となりました。
平成30年度からは国保制度改革(都道府県単位化)に伴い、保険給付に要した費用全額が道支出金として収入されており、市町村事業に対する交付金を含めた道支出金の額は、1,515,489千円となりました。

また、繰入金については、対前年度比8.8%減少の194,905千円となり、基金からの繰入は行なわず一般会計からの法定内繰入のみを行い財源を確保しております。

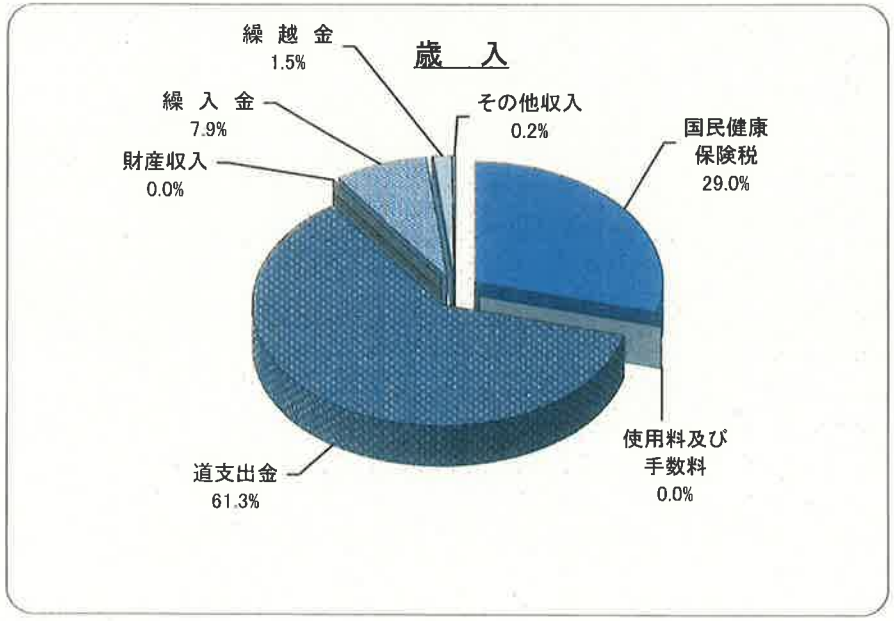
歳出の保険給付費については、加入者数が減少している中で0.6%の減少に留まりました。保健事業費については、特定健診受診者増加等により対前年度比14.8%増加となりました。

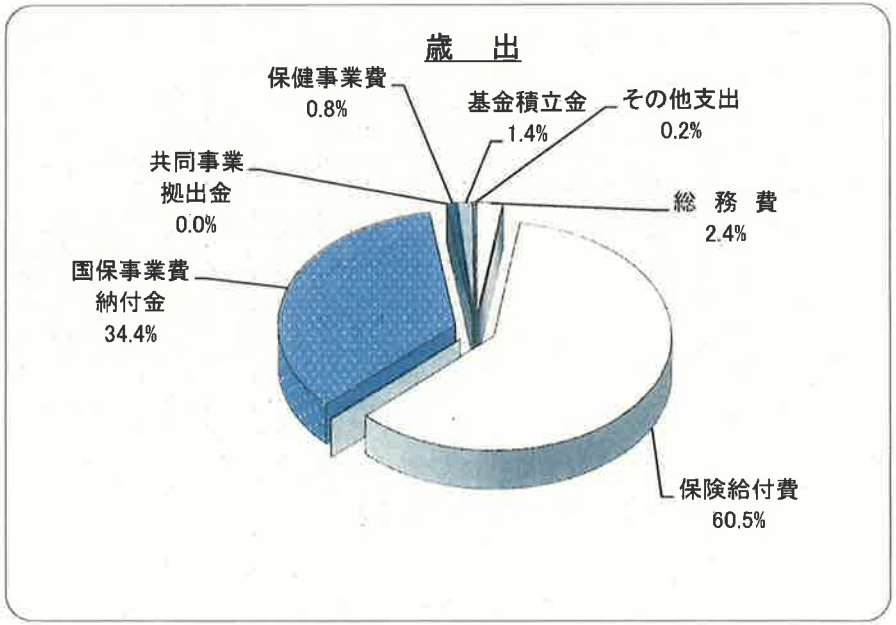
歳　入　　(単位:千円)

国民健康保険税	使用料及び手数料	道支出金	財産収入	繰 入 金	繰 越 金	その他収入	合　計
716,738	3	1,515,489	67	194,905	37,615	5,726	2,470,543

歳　出

総 務 費	保険給付費	国保事業費納付金	共同事業拠出金	保健事業費	基金積立金	その他支出	合　計
57,149	1,453,900	835,837	1	18,818	32,677	3,902	2,402,284





3.国民健康保険税の賦課・収納状況

(1)税率の推移

年度	所得割(%)			均等割(円)			平等割(円)			賦課限度額(円)		
	医療	後期	介護	医療	後期	介護	医療	後期	介護	医療	後期	介護
28	8.3	1.9	1.8	27,000	6,400	8,000	33,000	7,000	8,000	540,000	190,000	160,000
29	8.3	1.9	1.8	27,000	6,400	8,000	33,000	7,000	8,000	540,000	190,000	160,000
30	8.3	1.9	1.8	27,000	6,400	8,000	33,000	7,000	8,000	580,000	190,000	160,000
元	8.3	1.9	1.8	27,000	6,400	8,000	33,000	7,000	8,000	610,000	190,000	160,000
2	8.3	1.9	1.8	27,000	6,400	8,000	33,000	7,000	8,000	630,000	190,000	170,000

は改正箇所

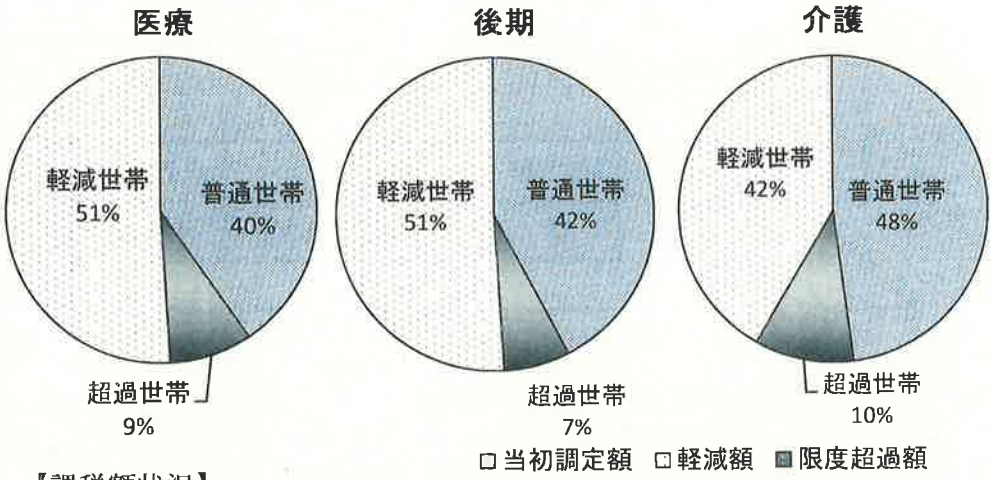
(2)保険税の賦課状況(※当初賦課時点)

①課税世帯状況

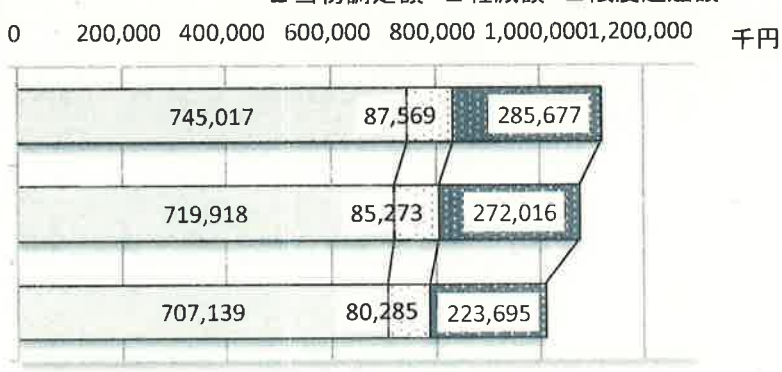
(単位:世帯)

	年度	総世帯数	普通世帯(特定世帯含)	超過世帯	軽減世帯			
						2割	5割	7割
医療	30	3,397	1,371	311	1,715	339	489	887
	元	3,291	1,333	282	1,676	333	483	860
	2	3,198	1,348	250	1,600	338	416	846
後期	30	3,397	1,453	229	1,715	339	489	887
	元	3,291	1,396	219	1,676	333	483	860
	2	3,198	1,348	250	1,600	338	416	846
介護	30	1,654	790	165	699	163	209	327
	元	1,553	745	161	647	136	221	290
	2	1,496	772	129	595	136	171	288

【令和元年度世帯状況】



【課税額状況】



②課税額状況

(単位:千円)

	当初賦課総額	軽減額	限度超過額	端数税額	年税額	月割増減	当初調定額
H30年度	1,153,960	87,569	285,677	275	780,439	△ 35,422	745,017
R1年度	1,109,430	85,273	272,016	0	752,141	△ 32,223	719,918
R2年度	1,044,053	80,285	223,695	0	740,073	△ 32,934	707,139

（3）保険税調定額と収納額の推移

①調定額と収納額の推移（総額）　　（単位：千円）

年度	現年度			滞納繰越分			不納欠損額	計			収納率（%）			全道平均（%）			一世帯、一人当調定額（単位：円）			
	調定額	収納額	未収額	調定額	収納額	未収額		調定額	収納額	未収額	現年分	滞繰分	計	現年分	滞繰分	計	一世帯当	伸率	一人当	伸率
H25年度	816,883	763,559	53,324	361,048	85,889	275,159	30,893	1,177,931	849,448	297,590	93.47	23.79	72.11	91.78	14.35	74.32	206,963	100.4	107,020	102.0
H26年度	802,266	744,635	57,631	295,497	69,580	225,917	18,749	1,097,763	814,215	264,799	92.82	23.55	74.17	92.56	15.81	76.00	207,949	100.5	108,870	101.7
H27年度	801,934	755,478	46,456	262,416	57,237	205,179	15,069	1,064,350	812,715	236,566	94.21	21.81	76.36	93.04	17.49	77.46	215,169	103.5	114,841	105.5
H28年度	792,037	746,304	45,733	235,868	51,351	184,517	9,741	1,027,905	797,655	220,509	94.23	21.77	77.60	93.75	18.87	79.66	224,947	104.5	120,996	105.4
H29年度	764,334	722,363	41,971	218,857	49,955	168,902	8,659	983,191	772,318	202,214	94.51	22.83	78.55	94.58	20.86	81.51	225,734	100.3	124,141	102.6
H30年度	732,774	694,508	38,266	200,187	43,252	156,935	15,447	932,961	737,760	179,754	94.78	21.61	79.08	95.16	22.03	83.32	226,305	100.3	126,602	102.0
R1年度	713,228	678,768	34,460	177,274	37,971	139,303	11,005	890,502	716,739	162,758	95.17	21.42	80.49	—	—	—	225,777	99.8	128,510	101.5

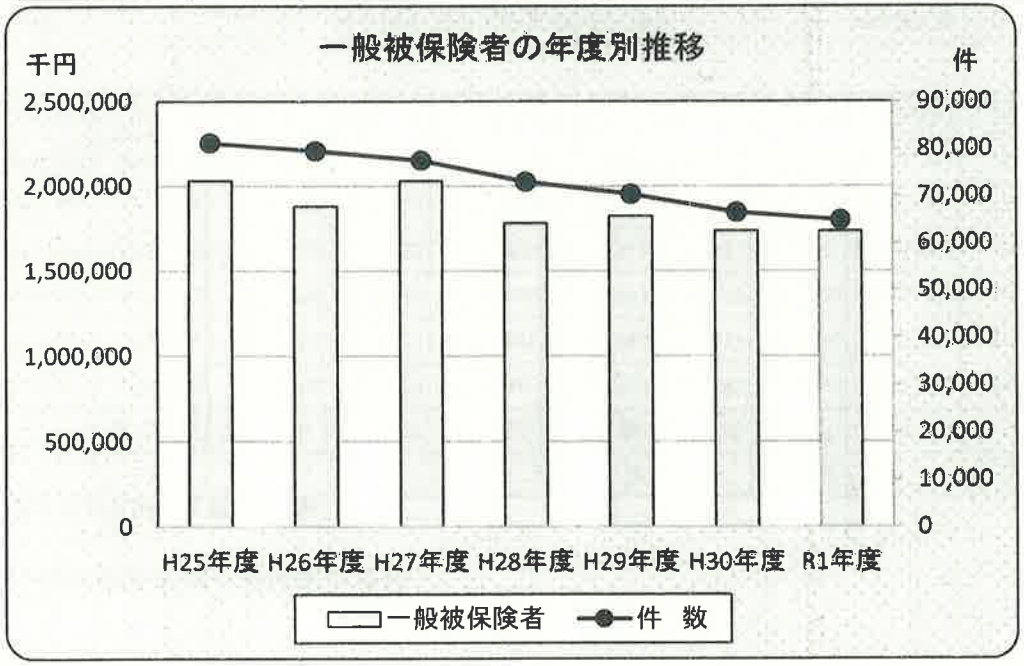
4.保険給付費等の状況

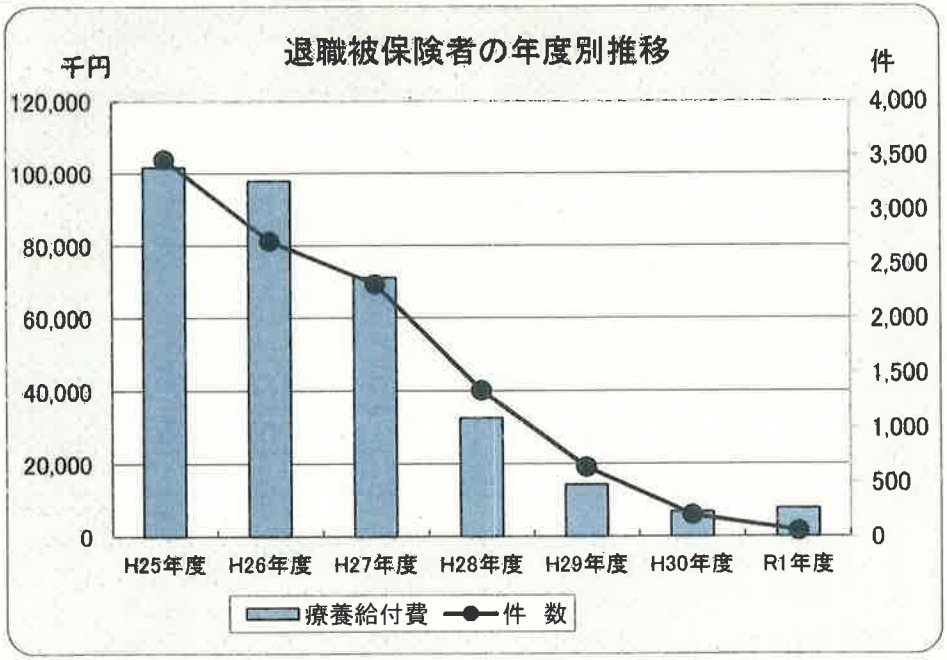
保険給付費等の状況については、一般被保険者で対前年度比件数2.4%、医療費0.08%の減少、退職被保険者では、件数が72.9%減少したものの、医療費は14.6%増加となり、加入者数は減少傾向にあるにもかかわらず、医療費については大幅な減少には至りませんでした。このことにつきましては、脳疾患や悪性新生物(がん)などの高額な医療費が発生する治療を必要する方の割合が平成30年度よりも高かったことが要因と推考しております。

(1)療養給付費(診療報酬＋療養費)

(単位:件・千円・%)

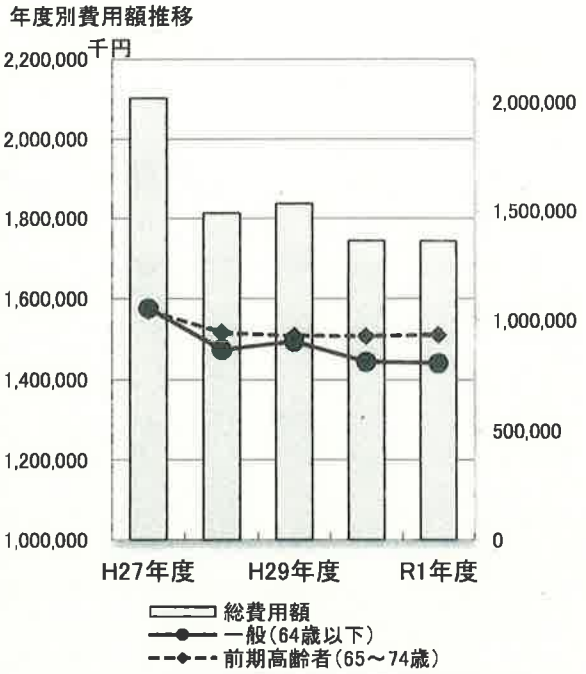
年度	一般被保険者				退職被保険者				合計	対前年度比
	件数	療養給付費	増減	対前年度比	件数	療養給付費	増減	対前年比		
H25年度	81,185	2,030,360	8,518	100.4	3,464	101,622	△ 23,393	81.3	2,131,982	99.3
H26年度	79,532	1,882,056	△ 148,304	92.7	2,712	97,869	△ 3,753	96.3	1,979,925	92.9
H27年度	77,493	2,031,845	149,789	108.0	2,312	71,052	△ 26,817	72.6	2,102,897	106.2
H28年度	72,945	1,781,262	△ 250,583	87.7	1,340	32,587	△ 38,465	45.9	1,813,849	86.3
H29年度	70,314	1,822,805	41,543	102.3	639	14,255	△ 18,332	43.7	1,837,060	101.3
H30年度	66,421	1,736,782	△ 86,023	95.3	199	6,748	△ 7,507	47.3	1,743,530	94.9
R1年度	64,803	1,735,320	△ 1,462	99.9	54	7,734	986	114.6	1,743,054	100.0

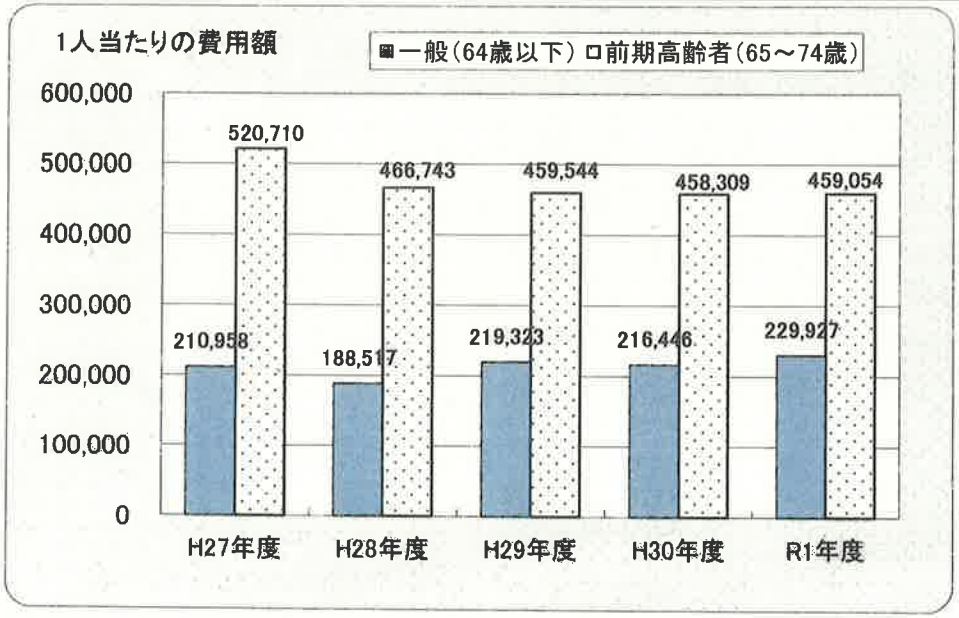


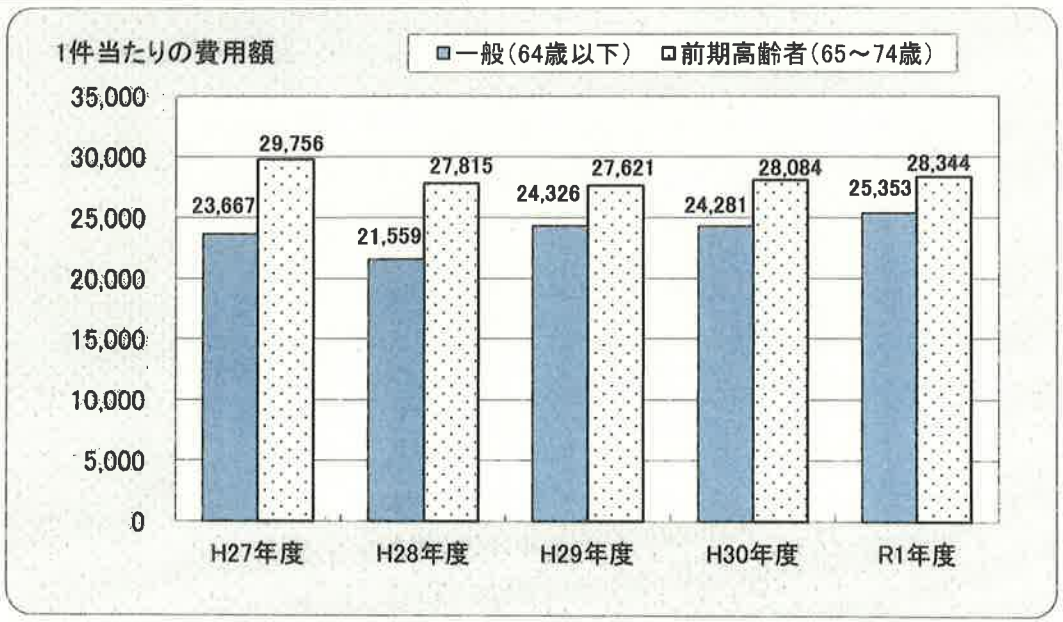


(2)世代別保険給付費等の状況

	H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R1年度	
平均被保険者数(人)	7,017		6,636		6,157		5,788		5,550	
一般(64歳以下)	5,007	71.4%	4,613	69.5%	4,131	67.1%	3,759	64.9%	3,512	63.3%
前期高齢者(65～74歳)	2,010	28.6%	2,023	30.5%	2,026	32.9%	2,029	35.1%	2,038	36.7%
受診総件数(件)	79,805		74,285		70,953		66,620		64,857	
一般(64歳以下)	44,631	55.9%	40,338	54.3%	37,245	52.5%	33,508	50.3%	31,850	49.1%
前期高齢者(65～74歳)	35,174	44.1%	33,947	45.7%	33,708	47.5%	33,112	49.7%	33,007	50.9%
費用額(千円)	2,102,896		1,813,848		1,837,060		1,743,530		1,743,053	
一般(64歳以下)	1,056,269	50.2%	869,627	47.9%	906,023	49.3%	813,620	46.7%	807,502	46.3%
前期高齢者(65～74歳)	1,046,627	49.8%	944,221	52.1%	931,036	50.7%	929,910	53.3%	935,551	53.7%
1人当たり費用額(円)	299,686		273,335		298,369		301,232		314,064	
一般(64歳以下)	210,958		188,517		219,323		216,446		229,927	
前期高齢者(65～74歳)	520,710		466,743		459,544		458,309		459,054	
1件当り費用額(円)	26,350		24,417		25,891		26,171		26,875	
一般(64歳以下)	23,667		21,559		24,326		24,281		25,353	
前期高齢者(65～74歳)	29,756		27,815		27,621		28,084		28,344	



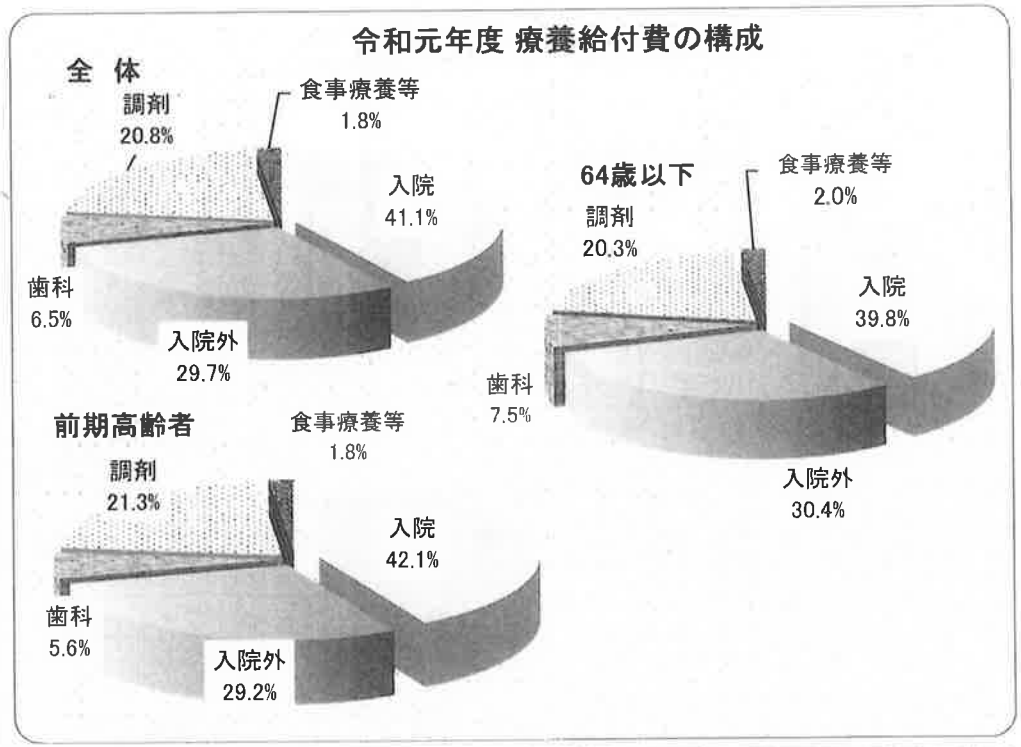




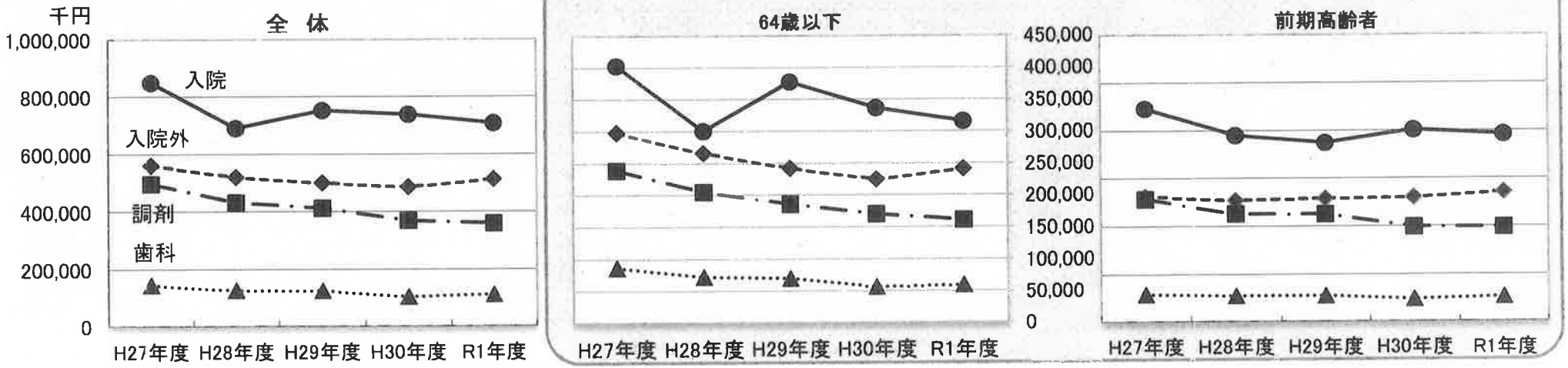
(3)診療区分別保険給付費等の状況

(単位:千円)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
入　院	849,774	690,777	752,554	738,406	708,361
64歳以下	403,419	300,875	377,676	336,606	316,035
前期高齢者	446,355	389,902	374,878	401,800	392,326
入院外	560,609	520,201	499,978	485,583	512,889
64歳以下	298,221	266,253	242,148	224,811	241,350
前期高齢者	262,388	253,948	257,830	260,772	271,539
歯　科	144,708	127,016	125,399	104,108	112,223
64歳以下	86,955	72,709	70,537	56,583	59,847
前期高齢者	57,753	54,307	54,862	47,525	52,376
調　剤	495,650	431,185	411,651	369,094	359,617
64歳以下	238,817	205,182	186,034	170,373	161,336
前期高齢者	256,833	226,003	225,617	198,721	198,281
食事療養等	43,589	32,088	34,099	33,086	31,821
64歳以下	22,498	15,267	19,488	16,341	15,480
前期高齢者	21,091	16,821	14,611	16,745	16,341



診療区分別の推移



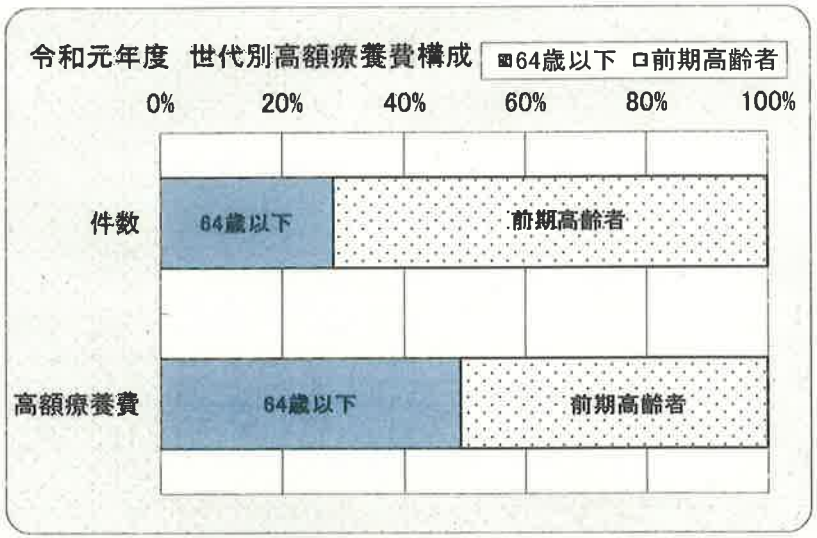
(4)高額療養費の状況

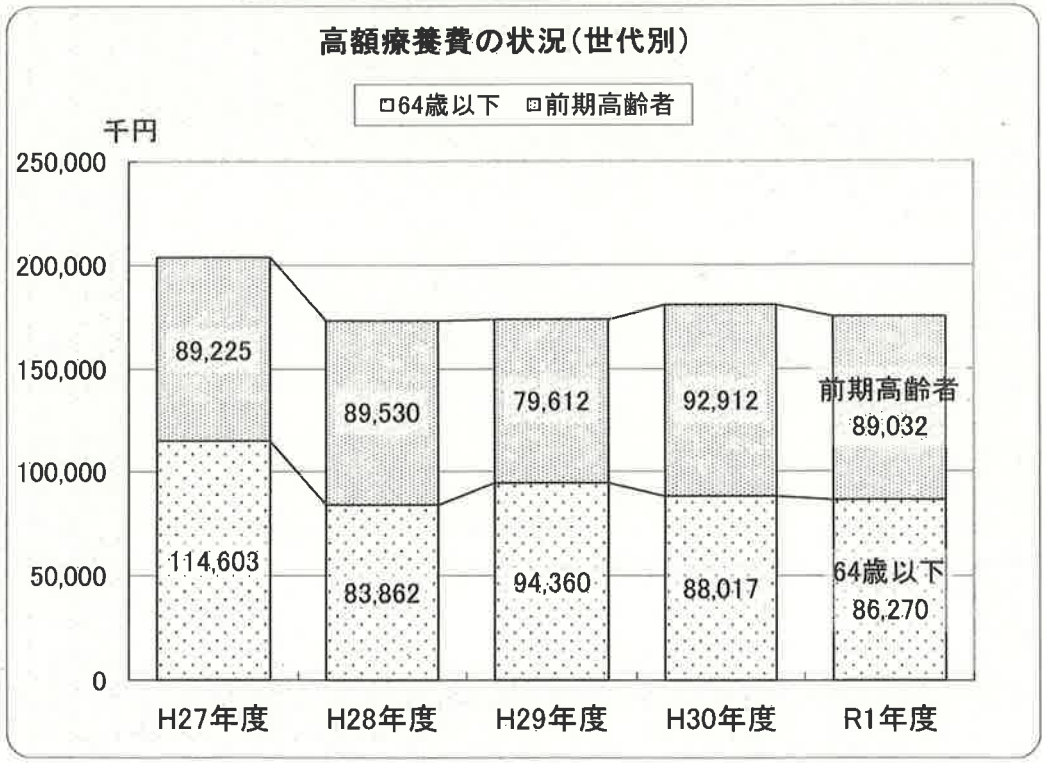
○件数　　(単位:件)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
全　体	3,141	2,900	2,998	2,893	2,995
64歳以下	1,052	877	897	814	850
前期高齢者	2,089	2,023	2,101	2,079	2,145

○金額　　(単位:千円)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
全　体	203,828	173,392	173,972	180,929	175,302
64歳以下	114,603	83,862	94,360	88,017	86,270
前期高齢者	89,225	89,530	79,612	92,912	89,032





2020/5/31

令和　元　年度　国民健康保険事業特別会計決算（款項別）

（単位：千円）

歳入

科目	予算現額 (A)	決算額 (B)	比較 (B)－(A)	説明
1 国民健康保険税	700,420	716,738	16,318	収納率：現年 95.10% 滞繰 21.42%
（医療給付費分）	(506,180)	(519,292)	13,112	H30決算：現年 94.78% 滞繰 21.61%
（後期高齢者分）	(130,259)	(130,251)	△8	H29決算：現年 94.48% 滞繰 22.83%
（介護納付金分）	(63,981)	(67,195)	3,214	H28決算：現年 94.21% 滞繰 21.76%
2 使用料及び手数料	6	3	△ 3	H27決算：現年 94.21% 滞繰 21.81%
3 国庫支出金	0	0	0	H26決算：現年 92.82% 滞繰 23.55%
2. 国庫補助金	0	0	0	H25決算：現年 93.47% 滞繰 23.79%
災害臨時特例補助金	0	0	0	
			0	
4 道支出金	1,824,074	1,515,489	△ 308,585	
1. 道負担金	1,824,074	1,515,489	△ 308,585	※特別交付金
保険給付費等交付金（普通）	1,773,317	1,453,041	△ 320,276	保険者努力支援分 7,783
保険給付費等交付金（特別）	50,757	62,448	11,691	特別調整交付金分 3,668
			0	道２号繰入金分 47,239
2. 道補助金	0	0	0	特定健診分 3,758
			0	
3. 財政安定化基金交付金	0	0	0	
5 財産収入	67	67	0	
6 繰入金	201,180	194,905	△ 6,275	※一般会計繰入金
1. 一般会計繰入金	201,180	194,905	△ 6,275	基盤安定（軽減分） 88,289
2. 基金繰入金	0	0	0	基盤安定（支援分） 54,128
				出産育児一時金 6,160
				職員給与費等分 46,328
				町単独事業分等
				財政安定化支援分
7 繰越金	1	37,615	37,614	
8 諸収入	1,510	5,726	4,216	
9 町債（財政安定化基金貸付金）	0	0	0	
歳入合計	2,727,258	2,470,543	△ 256,715	

差引（歳入－歳出）	0	68,259

R1年度積立額
32,677千円

基金積立金
R1年度末残高 262,238千円
（H30年度末残高） 191,944千円
H30決算積立基金 37,617千円

歳出

科目	予算現額 (A)	決算額 (B)	比較 (B)－(A)	説明	
1 総務費	58,603	57,149	△ 1,454	総務管理費	28,028
				徴税費	28,995
				運営協議会費	126
2 保険給付費	1,773,317	1,453,900	△ 319,417		
1. 療養諸費	1,552,601	1,268,318	△ 284,283		
一般診療報酬	1,535,310	1,251,216	△ 284,094		
退職診療報酬	5,340	5,340	0		
一般療養費	8,673	8,673	△ 0		
退職療養費	3	0	△ 3		
審査手数料	3,275	3,089	△ 186		
2. 高額療養費	206,129	175,347	△ 30,782		
一般高額療養費	203,599	173,089	△ 30,510		
退職高額療養費	2,230	2,230	△ 0		
一般被保険者高額介護合算療養費	200	21	△ 179		
退職被保険者等高額介護合算療養費	100	7	△ 93		
3. 移送費	150	0	△ 150		
4. 出産育児諸費	13,447	9,245	△ 4,202		
5. 葬祭諸費	990	990	0		
3 国民健康保険事業費納付金	835,837	835,837	0		
4 共同事業拠出金	1	1	0		
一 財政安定化基金拠出金	0	0	0		
5 保健事業費	22,456	18,818	△ 3,638		
1. 特定健康診査等事業費	15,657	13,243	△ 2,414		
2. 保健事業費	6,799	5,575	△ 1,224		
6 基金積立金	32,677	32,677	0		
7 公債費	100	1	△ 99	療給返還金	626
				退職交付金返還金	0
8 諸支出金	3,989	3,901	△ 88	特定健診補助金返還金	0
				還付金・加算金	3,275
				共同事業返還金	0
9 予備費	278	0	△ 278		
歳出合計	2,727,258	2,402,284	△ 324,974		

その他　（保健事業について）

１．令和元年度保健事業実績

(1)特定健康診査・特定保健指導

40～74 歳を対象に実施。同時に 18～39 歳の国保加入者と、75 歳以上の後期高齢者医療保険加入者についても健診を無料で実施。

【図１　特定健診受診数・受診率の推移】

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
対象者	4513	4628	4631	4518	4415	4263	4049	3819	3613	3939
受診人数	859	815	909	888	945	1051	960	1007	1068	1152
中標津町	19	17.6	19.6	19.7	21.4	24.7	23.7	26.4	29.6	29.2
北海道	22.6	23.5	23.8	24.7	26.1	27.1	27.6	28.1	29.5	
全国	32	32.7	33.7	34.3	35.4	36.3	36.6	37.2	37.9	

【図２　特定保健指導数・率の推移】

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
対象者	109	116	104	92	121	126	121	116	140	141
利用者	24	20	13	23	14	26	21	21	27	26
中標津町	22	17.2	12.5	25	11.6	20.6	17.4	21.8	19.3	18.4
北海道	12	26.7	28.7	28.6	29.1	30.9	33.6	33.5	34.8	
全国	20.8	21.7	23.2	23.7	24.4	25.1	26.3	26.9	28.9	

※H30 までは法定報告値。R1 は実績値

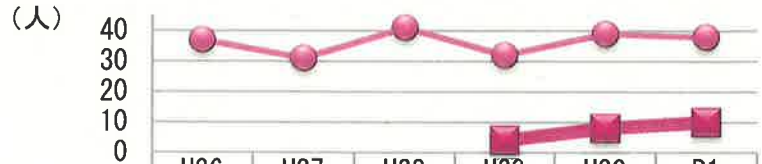
(2)国保・後期人間ドック

対　象：30 歳以上の国保加入者（条件：1 年以上加入、保険税滞納のない世帯）H29 より後期高齢者の方も受診可能

受　診　数（図３）：前年度とほぼ同じ

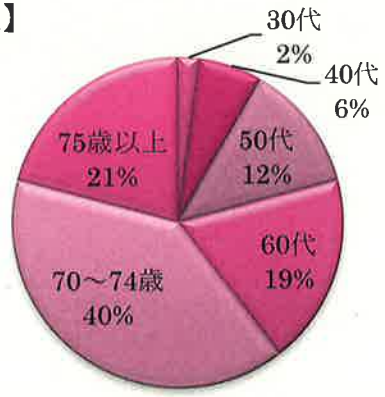
年代別内訳（図４）：60 歳以上の受診者が多い。

【図3　受診数推移】



	H26	H27	H28	H29	H30	R1
国保	37	31	41	32	39	38
後期				4	8	10

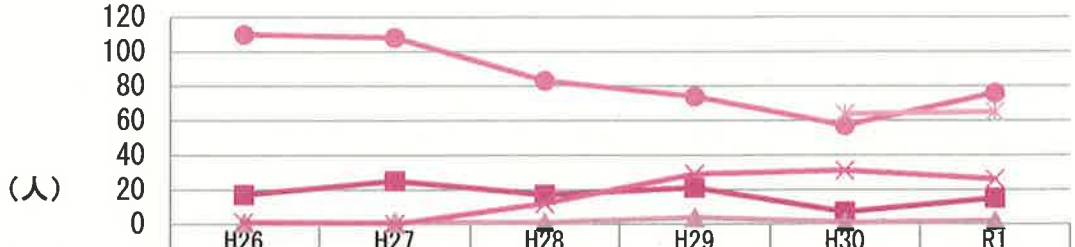
【図4　受診者年代別内訳】



(3) データ受領（みなし健診）

健診や人間ドックでの結果を本人の同意のもと、医療機関から直接データ提供（商工会、摩周・札幌厚生病院実施分）、医療機関での受診結果を本人が町へデータ提供、町立中標津病院内科通院者の受診結果を町へデータ提供（平成 30 年度より町立中標津病院とみなし健診について委託契約済み）

【図５　データ受領数の推移】



	H26	H27	H28	H29	H30	R1
商工会	110	108	83	74	57	76
摩周厚生病院	17	25	17	21	7	15
札幌厚生病院	1	1	1	4	1	2
本人持込	1	0	12	29	31	26
町立中標津病院					64	65

(4)骨粗鬆症検診

方　法：集団検診（各農協）、個別検診（町立中標津病院）

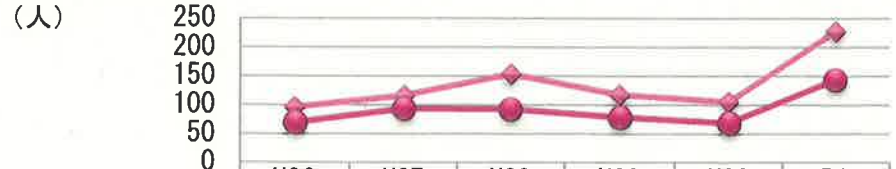
料　金：国保加入者は無料

受診者数（図６）：前年度比 2 倍以上の増加。

年代内訳（図７）：60 代以上の受診者が全体の 8 割以上。

結果状況（図８）：半数近くが骨粗鬆症または骨密度が低い。

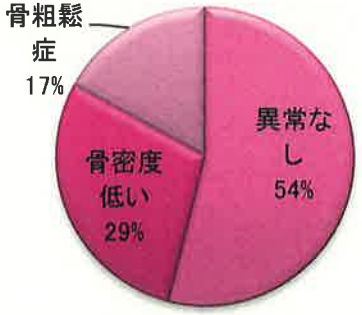
【図６　受診状況】



	H26	H27	H28	H29	H30	R1
受診者数	96	116	153	117	105	227
再掲）国保加入者	69	93	92	78	68	143

【図７　受診者年代内訳】

【図８　結果状況】

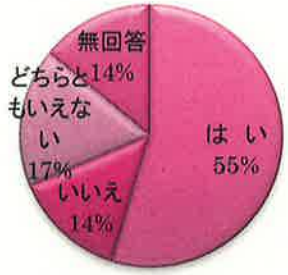


(5)なかなか健康なかしべつポイント

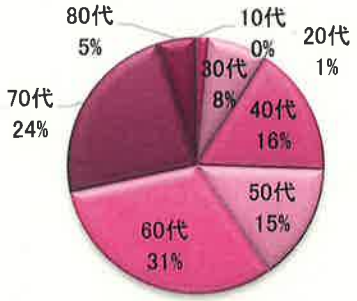
対　象　：18 歳以上の町民
方　法　：健診の受診や体育施設の利用等に応じてポイントを付与し、10 ポイント貯まったら応募。抽選で健康グッズ等が当たる。
　　応募は期間中一人１回。抽選会を令和２年３月実施。
結　果　：応募者数 649 名　当選者数 315 名
　　応募者へのアンケート結果（図９、図１０）、各種検診受診状況(表１、図１１）
　　「このポイント事業が健診を受けたり、運動などに取り組むきっかけとなりましたか？」

【図９アンケート結果】

	は　い	いいえ	どちらともいえない	無回答	計
件　数	355 人	91 人	111 人	92 人	649 人



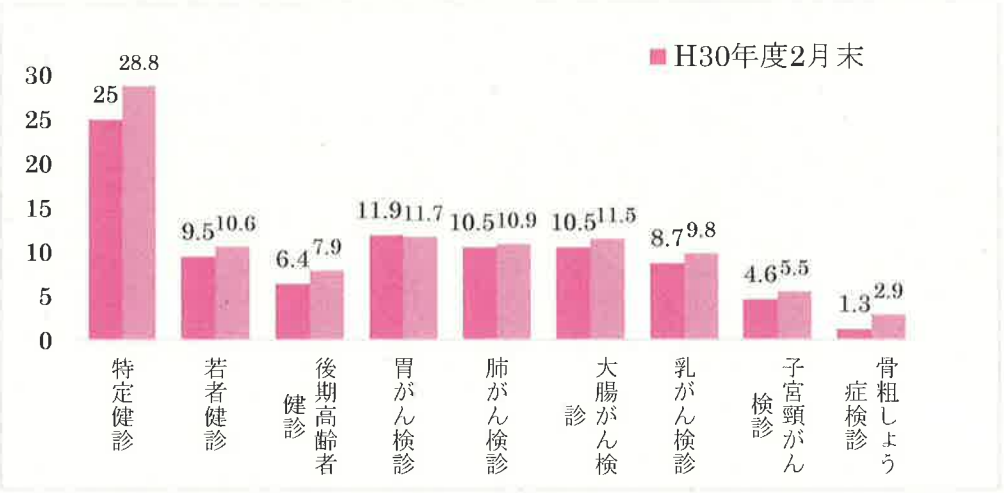
【図１０応募者年代内訳】



【表１】健康診査、各種がん検診等の受診状況

	H３０年度実績	H３０同期（２月末）	R１ 年 度（２月末）	昨年同期との比　較
特定健康診査	１，１２５	１，０４５	１，１３４	８９
若者健診	８６	８６	９４	８
後期高齢者健康診査	１８２	１８２	２１９	３７
胃がん検診	７６２	７６１	７５０	▲１１
肺がん検診	１,０５１	１,０４９	１,０９３	４４
大腸がん検診	１,０４４	１,０４３	１,１１０	６７
乳がん検診	４４２	４４０	４８７	４７
子宮頸がん検診	３４６	３４３	３９７	５４
骨粗鬆症検診	１００	９８	２２５	１２７

【図１１】各種検診の受診率の比較



(6)国保重複・多受診者訪問事業

対　象：
① 重複受診者：同一診療年月内で、同一診療科のレセプトが２件以上の月が３ヶ月以上継続している者（医療機関からの紹介、検査や手術のための重複受診を除く。）
② 多受診者：同一診療年月内で、レセプトが３件以上の月が３ヶ月以上連続している者
③ 重複服薬者：同一医薬品の処方が同一月に複数ある者

方　法：国保連合会から提供される重複受診・多受診者リストからレセプトを確認し、対象者を抽出。文書について通知後、保健師・看護師による訪問指導を実施。訪問後３カ月経過後にレセプトにて受診状況を確認し評価。

結　果：訪問対象者６名のうち、訪問件数　５名（内訳：重複受診５名、多受診１名、重複服薬４名　※複数該当有）
支援の効果が得られたケース　１名～重複受診・重複服薬の解消

２．令和２年度　主な事業について

(1)特定健診

	実施体制	新たな取り組み
集団健診	保健センターでのバス健診（結核予防会） （6/2～6/6 は新型コロナ感染防止のため中止。 9/4～6、10/23～10/27、12/6～8）	健診委託機関を結核予防会へ一本化。 新型コロナウイルス感染防止のため、予約人数の調整、体調確認、換気・消毒などの対策を実施。
	各農協でのバス健診 （計根別 8/6～8/7、中標津 10/7～10/9）	継続
個別健診	町立中標津病院、石田病院、富沢内科医院、釧路がん検診センター	継続
人間ドック	町立中標津病院、石田病院、富沢内科医院、釧路がん検診センター	対象年齢を 40 歳以上へ引き上げ 町立中標津病院にて、希望者には胃カメラに代わり胃バリウム検査を実施
データ受領	商工会、摩周厚生病院、札幌厚生病院、本人持込み、みなし健診（町立中標津病院）	継続

特定健診受診率向上への新たな取り組み

●健康かるてシステムの導入

目　的：各種検診の対象者資格管理、予約状況、健診結果及び受診履歴などをこのシステムにて一元的管理をすることにより、健診事務の効率化及び保健指導の充実、受診率向上を図り、被保険者の健康増進と医療費の適正化を図る。

●特定健診受診率向上支援共同事業

北海道国民健康保険団体連合会との共同事業として実施。ＡＩにより効果的なグループ分け、及びグループ特性に基づく受診勧奨メッセージを掲載したハガキによる受診勧奨を行う。10 月下旬にハガキを発送予定。

(2)なかなか健康なかしべつポイント事業

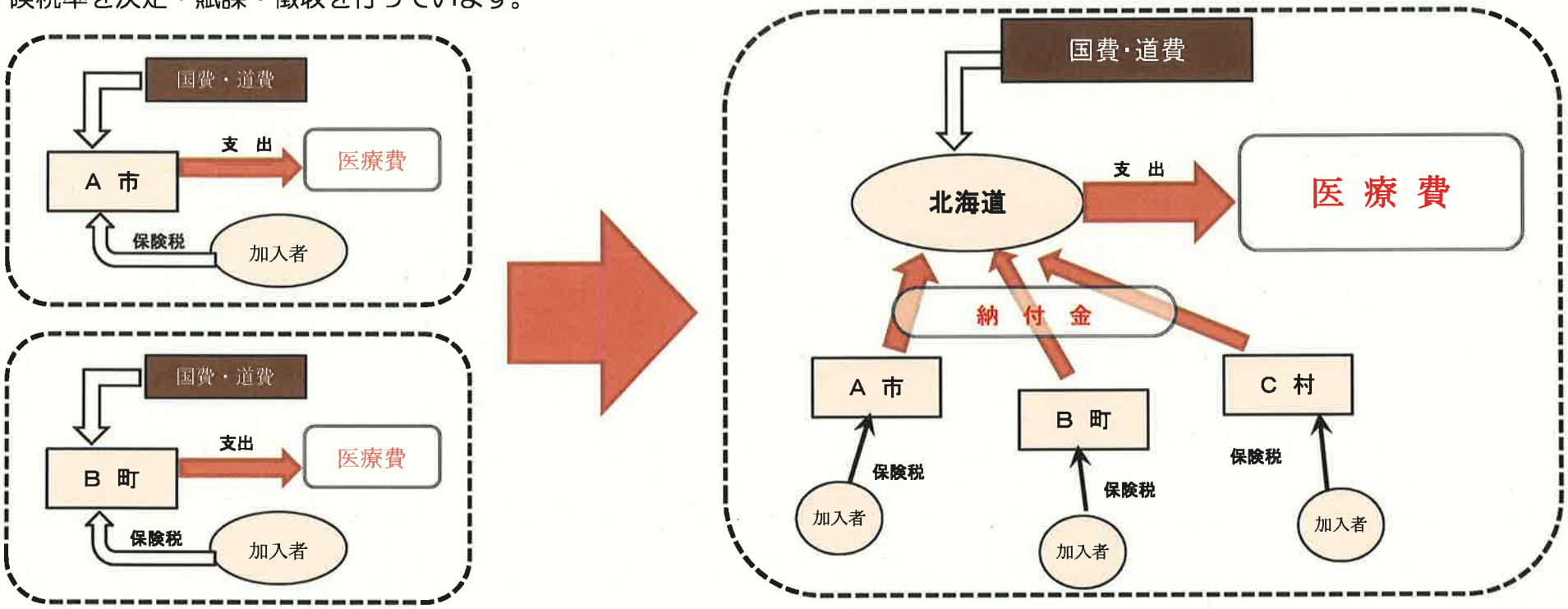
昨年度に引き続き、18 歳以上の町民を対象に実施。ポイント対象事業を増やし、実施期間を３月 31 日まで延長。応募回数もこれまでの年度内一人１回から一人何回でも応募可へ、また希望の賞品を選択するように変更。抽選会を令和３年４月開催予定。

その他　（運営方針見直しによる統一保険料（税）に向けた検討について）

1．平成 30 年度国保制度改革以降の保険税の考え方

制度改革以前の保険税については、市町村各々の国保加入者が受診した医療費を賄うことができる保険税率を決定し財源を確保しておりましたが、平成 30 年度の制度改革により、「北海道」が財政運営の責任主体として中心的な役割を担うこととなりました。

これにより、北海道が道内国保加入者全体の医療費を賄うため、各市町村の被保険者数、所得状況、一人当たりの医療費の状況から算出した【納付金】を医療費の財源として市町村より集めるかたちとなり、市町村の保険税は、納付金を支払うための財源として、保険税率を決定・賦課・徴収を行っています。



2．北海道国民健康保険運営方針について

国保に関する事務を道と市町村が共通認識の下で実施するとともに、安定的な財政運営及び事務の広域化や効率化の推進に向け、運営に関する統一的な方針として北海道が策定するもので、３年ごとに検証のうえ見直すこととされております。

今般国は制度改革が概ね順調に実施されていることを踏まえ今後は国保の都道府県単位化の趣旨を一層深化させることが重要だとして、「将来的に保険料水準の統一を目指す」という方向性を明確化し今年度の見直しにおいてガイドラインに追記されました。

3．運営方針の見直し【保険料水準の統一（納付金配分の平準化）】

今後の目指す姿

・北海道として、住む町の個別事由（医療費水準や収納率）に影響されない統一保険料率（同一所得・同一世帯構成であれば道内どこの市町村でも同じ負担）を目指す。【目標年度　2030 年度（令和 12 年度）】

■■　統一保険料を目指すにあたり北海道が提示している「納付金配分の平準化」に向けたスケジュール案　■■

（1）医療費水準の統一について

・全道の医療費を全道の被保険者で支える仕組みとなったが、市町村ごとの医療費水準にばらつきがあるため保険料の急激な上昇を抑える目的として、医療費指数反映係数（α）の段階的な変更、また一人当たり医療費の低い市町村へ現在交付している医療費指数反映による差額補填（公費）の段階的減少により納付金算定に医療費水準を反映しないα＝0を目指す。

◆医療費指数反映係数（α）の変化と差額補填割合の変化

α＝1　（納付金算定に医療費水準をすべて反映）

α＝0.5（納付金算定に医療費水準を１／２反映）※現行算定方法

α＝0　（納付金算定に医療費水準を反映しない）※目指す姿

項目	H30～R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
医療費指数反映係数（α）	α＝0.5	α＝0.5	α＝0.5	α＝0.5	α＝0	α＝0	α＝0
α＝1との差額補填割合	100%	80%	50%	20%	40%	20%	10%

○医療費指数（北海道＝１とした場合）

【中標津町の医療費指数　＝　0.936347】（H28～H30 平均）

※一人当り療養諸費（H30 度）　中標津町　301,232 円（149 位／157 保険者中）

北海道平均	401,976 円
1 位（初山別村）	556,852 円
157 位（占冠村）	229,852 円

（2）所得係数の統一について

・市町村ごとの所得水準を納付金算定において反映することで、統一保険料率となるよう段階的に所得係数βを北海道平均に近づける。
「全国平均所得水準β＝１とした場合、北海道の所得水準はβ＝0.89（R2 納付金ベース）

◆所得係数（β）の変化

【現行】（H30～R2）　所得水準の高い市町村の急激な保険料上昇を抑えるため、所得係数β＝0.75 で算定
【R3～R5年度】　北海道β＝0.89 と現行β＝0.75 の中間値　β＝0.82 で算定
【R6 年度以降】　北海道β＝0.89 で算定（※保険料の急激な上昇がある場合、時間軸を調整することも検討）

○一人当たり所得額　・全国平均　583,633 円　・北海道　521,237 円　中標津町　703,829 円

【医療費係数α・所得係数βの変更による中標津町の納付金額について】

「R2 納付金ベース（被保険者数・所得状況）での概算」

	R 元年度（決算） α＝0.5・β＝0.75	R2 年度（見込） α＝0.5・β＝0.75	R3 年度（概算） α＝0.5・β＝0.82	R4 年度（概算） α＝0.5・β＝0.82	R5 年度（概算） α＝0.5・β＝0.82	R6 年度（概算） α＝0・β＝0.89
納付金額	835,837 千円	848,304 千円	861,842 千円	863,479 千円	860,862 千円	891,914 千円
個別歳出額	113,770 千円	102,453 千円	91,000 千円	91,000 千円	91,000 千円	91,000 千円
保険税を財源とした歳出額総計	949,607 千円	950,757 千円	952,842 千円	954,479 千円	951,862 千円	982,914 千円
保険税（現年度分）	678,768 千円	674,174 千円	674,000 千円	674,000 千円	674,000 千円	674,000 千円
低所得者軽減補填	88,289 千円	80,782 千円	81,000 千円	81,000 千円	81,000 千円	81,000 千円
α＜1 差額補填額	35,297 千円	42,885 千円	32,000 千円	20,000 千円	8,000 千円	32,000 千円
個別歳入額	177,108 千円	164,716 千円	149,000 千円	134,500 千円	126,000 千円	126,000 千円
納付金財源としての歳入総計	1,017,433 千円	996,895 千円	970,000 千円	943,500 千円	923,000 千円	947,000 千円
差引（剰余・不足）	67,826 千円	46,138 千円	17,158 千円	▲10,979 千円	▲28,862 千円	▲35,914 千円

（3）応能・応益割合の変更

・応能・応益割合は北海道の所得水準に応じた構成割合（応能 43：応益 57）、応益割においては（均等 30：平等 20）を目指し、北海道が示す市町村標準保険料率における構成割合とすることで、市町村間の保険料率の統一を目指す。

○保険税率と賦課割合の比較（現行保険料率と標準保険料率との比較）

		応能割	応益割			所得割率	応益割額		
				均等割	平等割			均等割額	平等割額
医療分	R2 度　現行保険税率	57.1%	42.9%	26.0%	16.9%	8.30%	60,000 円	27,000 円	33,000 円
	R2 度納付金算定時標準保険料率	57.8%	42.2%	30.7%	11.5%	8.17%	51,281 円	30,520 円	20,761 円
	現行保険税率との比較	▲0.7%	0.7%	▲4.7%	5.4%	0.13%	8,719 円	▲3,520 円	12,239 円
	【参考】北海道標準保険料率	47%	53%			7.53%	43,966 円		
後期支援分	R2 度　現行保険税率	60.2%	39.8%	25.2%	14.6%	1.90%	13,400 円	6,400 円	7,000 円
	R2 度納付金算定時標準保険料率	58.5%	41.5%	30.2%	11.3%	2.56%	16,535 円	9,841 円	6,694 円
	現行保険税率との比較	1.7%	▲1.7%	▲5.0%	3.3%	▲0.66%	▲3,135 円	▲3,441 円	306 円
	【参考】北海道標準保険料率	47.7%	52.3%			2.44%	14,010 円		
介護納付金分	R2 度　現行保険税率	63.2%	36.8%	20.5%	16.3%	1.80%	16,000 円	8,000 円	8,000 円
	R2 度納付金算定時標準保険料率	66.1%	33.9%	24.2%	9.7%	1.86%	14,732 円	9,792 円	4,940 円
	現行保険税率との比較	▲2.9%	2.9%	▲3.7%	6.6%	▲0.06%	1,268 円	▲1,792 円	3,060 円
	【参考】北海道標準保険料率	50.9%	49.1%			1.89%	13,916 円		

○標準保険税率の賦課割合へ変更した場合、現行税率と比較すると応益分のうち均等割の割合が上昇するため、世帯人数が多い世帯ほど、負担感が大きくなる。
（※世帯が３人以上で課税額は現行税率よりプラスになる。）

全体（合算）		所得割率	応益割額		
				均等割額	平等割額
医療分	R2 度　現行保険税率	12.00%	89,400 円	41,400 円	48,000 円
	R2 度納付金算定時標準保険料率	12.59%	82,548 円	50,153 円	32,395 円
	現行保険税率との比較	▲0.59%	6,852 円	▲8,753 円	15,605 円
	【参考】北海道標準保険料率	11.86%	71,892 円		